



春のイベントへ
おでかけください

平成25年度環境サロン 合同報告会

と き： 平成26年3月16日(日)
と ころ： 宇部市文化会館2階研修ホール
参加料： 無 料

今年度、「世代間の対話～こころの環境づくり」、「里山保全と再生」、「環境のまちづくり(市民共同発電・中心市街地の活性化)」の3つのテーマで実施した25回のサロンの合同報告会です。FM きらら「人間まるごとリサイクル」の軽妙なトークでおなじみの久保研二さんの特別講演もあります。ぜひおいでください。

プログラム
13:30～ テーマ別報告
15:10～ 特別講演 久保研二さん
「私の環境問題～表現者として考えること」

本年度の環境サロンの記録は、宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」の学習館ブログやYouTubeにアーカイブとして残しております。ぜひ、ご覧ください。

ブログ <http://www.ubekuru.com/>
YouTube 「環境サロン」でご検索ください

ま ち な か 第11回 エコ市場 3月21日 (金・祝)

エコ市場も第11回を迎えることになりました。
今回は、環境関連団体の活動報告・展示ブースや企業ブースに加え、エコ市場初の「里山軽トラ市」を企画しています。バラエティに富んだ里山の恵みをお楽しみください。

また、ステージでは、従来の演奏やコーラスに加えて、「エコピンゴ」や、省エネチェックの「エコ教室」などもおこないます。賞品も用意してお待ちしておりますので、ご家族みなさんで、ぜひご参加ください。

アーケード内には、美味しいものや雑貨販売などのおなじみの出店ブースもありますし、フリマコーナーも準備中です。

みなさまのお越しを、心よりお待ちしております。



●エコ市場に関する情報は、随時、ポータルサイト「うべっくる」のブログにも掲載していきますので、ぜひそちらもご覧ください。

まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。

メンバーはその日集まってくださった方。楽しくおしゃべりしながら、

「まち」をちょっときれいにしませんか?

次回は 3月30日(日) 15:00から。

まちなか環境学習館前に集合です。

おそうじ隊参加者には、環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

環境歳時記

3月24日

エクソンバルディーズ号
原油流出事故

(1989年)

裏面をご覧ください

4月1日よりミーティングルームの利用料金が変わります。
(裏面をご覧ください)

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」



うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

※ まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。

ポータルサイト内のブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

4月1日よりミーティングルームの利用料金が変わります。

4月からの消費税率変更に伴い、ミーティングルームの利用料金を変更させていただきます。



ブラインドが
付きました。

ミーティングルーム 小
～12人程度



窓の大きな明るい
部屋です。

ミーティングルーム 大
～30人程度

地域の会合に、
サークル活動に、
ぜひご利用ください



利用料金(平成26年4月1日より)	小(2階)	大(3階)
9:00—12:00 (3時間)	151円	432円
12:00—17:00 (5時間)	259円	756円
17:00—21:00 (4時間)	302円	864円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間

※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む)……各時間帯 1,000円

環境関連のご使用の場合、割引がございます。詳細は、スタッフにお気軽にお尋ねください。

環境歳時記 3月24日

エクソンバルディーズ号原油流出事故(1989年)

米国アラスカ州の中央を南北に縦断して走る石油パイプラインの南側終点のバルディーズ市の石油ターミナルを1989年3月23日午後9時過ぎに原油約20万トンを積載したエクソンバルディーズ号(214,861載貨重量トン)はカルフォルニア州へ向けて出港した。船はバルディーズ海峡を出たところで誘導していた水先案内人船長と交代した。船は航路を漂う冰山を避けながら進んでいた。

そして船は航路に戻ることなく24日0時過ぎに暗礁に乗り上げてしまった。この座礁で11個の原油タンクのうち8個に裂け目が生じて積載していたうちの約20%に当たる約4.2万トンが流出した。流れ出した原油は不十分な油回収設備や油分散処理剤の不使用など初期の対応の不備でバルディーズ市のあるプリンスウィリアム湾を中心にアラスカ湾の海岸線約2,400kmを汚染した。

この地域は豊富な自然に恵まれた人跡未踏の地域であり、この原油の流出はこの自然に甚大な被害を与えた。加えて除染作業で高温・高圧水を使用したことにより、岩に生息する微生物を吹き飛ばし、潮間帯生物や海中の油分解性菌を殺したりしたために生物の食物連鎖の鎖を絶たれ一帯が不毛の地と化した。

原油の除去作業は5年をかけ、計1万1,000人が従事して行われ、残された原油は急速に自然分解すると見られていたが20数年たった今も砂や石をすこし取り除くと油が染み出ており、動植物の復活は進んでいない。

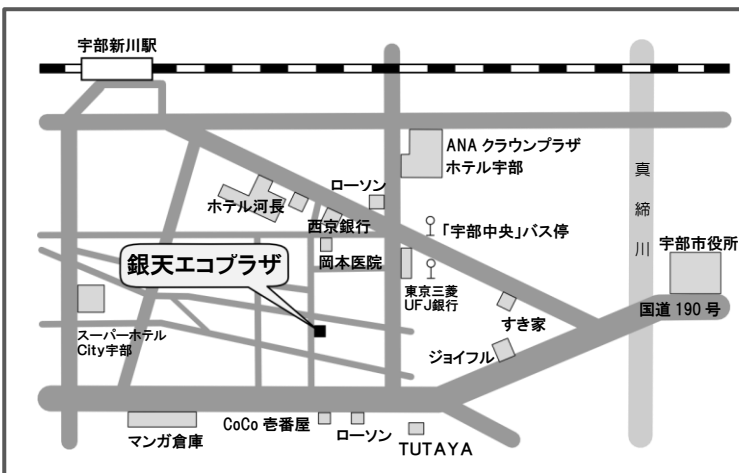
この事故を契機に多くのことが見直されてきた。

まず手っ取り早い方法として、それ以後建造されるタンカーは船底を二重構造にすることとなった。

そしてもっとも大きな改革は企業の環境への配慮義務の構築である。企業活動によってもたらされた膨大な取り返しのつかない自然破壊を問題視したアメリカの環境保護グループCERESは企業が環境問題への対応について守るべき倫理原則を発表した。それは初めバルディーズ原則と呼ばれたが後にセリーズ原則と改められた。その内容は10項目によって成り立っている。

- 1 生物圏保護の為、汚染物質の放出をなくす様努力する。
- 2 天然資源有効利用と野生動植物の保護に努める。
- 3 廃棄物処理とその量の削減に努める。
- 4 安全、持続的なエネルギー源利用に努める。
- 5 安全な技術やシステムを採用し緊急事態への対応を図る。
- 6 安全な商品やサービスを提供し、それらが環境に与える影響を消費者に知らせる。
- 7 環境破壊に対する全ての損害賠償責任を負う。
- 8 情報の公開を行う。
- 9 環境問題を担当する取締役を置く。
- 10 環境問題への取り組みを評価する独自の年次監査報告の公表を行う。

これ以降、多くの企業はこの原則に沿った活動を進めるようになり、年次報告書としての環境報告書を発行するようになった。
(館長 西村 誠)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)